

# うたしない 市議会だより

## 第46号

歌志内市議会  
議会報編集委員会

発行年月日 平成29年5月1日



行政常任委員会・道外行政視察で愛知県豊根村訪問の様子  
平成29年1月25日

### 議会の動き

#### 定例会の開催

3月7日から16日までの10日間定例会が開催されました。7日及び8日は、平成28年度各会計補正予算などの議案20件が審議され、そのうち議案13件が原案どおり可決され、平成29年度各会計予算など議案7件が、条例・予算等審査特別委員会に付託されました。9日、10日の2日間は7名の議員による一般質問が行われ、13日から15日までの3日間は特別委員会が開かれ、付託された議案の審査が行われました。

最終日16日は、特別委員会に付託されていた議案7件の審査結果について委員長より



歌志内幼稚園視察の様子

## 平成29年 第1回定例会 3月開催

### もくじ

- 議会の動き …… 1 P
- 一般質問 …… 2～6 P
- 可決された意見書 …… 6 P
- 行政常任委員会報告 …… 6 P
- 条例・予算等  
審査特別委員会 …… 6 P



下山 剛義

一 市政執行方針  
質 薬草栽培事業について

薬草栽培事業の可能性調査を行うとあるが、内容について伺います。

答 薬草栽培については、石炭の露頭掘跡地の活用を視野に入れ、可能性を調査するもので、研究機関からのアドバイスをいただき、適合品種や栽培用地としての可能性などの調査を進める。

質 オリジナルの土産品づくりについて

特産品開発支援事業の活用促進を図るとあるが、歌志内オリジナルの土産品づくりの状況について伺います。

答 市内に検討委員会を設置し、土産品となる商品の選定に向け検討を進めており、具体的には「なまはげ」を素材とした「飴」や「クッキー」などを検討している。また、市内事業者の「特産品開発支援事業」活用も期待している。

質 認定こども園の保育料について

次代を担う子供たちが健やかに生み育てられるために、

保育料を検討すべきと思うが、考えを伺います。

答 歌志内市総合計画による充実した子育てや教育を実現するために、他市町との差別化を図ることとしており、保護者等からの意見も十分聴きながら、慎重に検討する。

質 環境改善とコンパクトなまちづくりについて

コンパクトシティの進捗状況について伺います。

答 現在、神威桜沢地区の集約化を平成27年度から進め、平成29年度に残り2世帯の転居で集約化が終了する予定。今後も老朽化住宅の解体については、跡地利用も考慮し計画的に進めながら、コンパクトなまちづくりを行っていく。

質 防災対策について

昨年の水害で得た貴重な体験や教訓を、今後に生かすべく災害対策本部体制や防災情報提供の見直しを行うとあるが、内容について伺います。

答 災害発生時には、細かな対応が求められる状況となり、対応に遅延を招くことがあったことから、担当者ごとに具体的な役割を決めておくことや、各部署の判断で活動できるように、行動マニュアルの策

定を行い、より迅速・的確な対応ができる体制を整備する。

二 教育行政執行方針  
質 小中一貫併設校について

小中一貫併設校の方向性について検討を行うとあるが、内容について伺います。

答 小中一貫教育制度は、平成28年度から、設置者が地域の実情を踏まえて小中一貫教育が有効であると判断した場合に、導入できることとなった。小・中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指すものとされており、本市では、幼稚園をはじめ、小学校低学年から国際理解教育として英語教育を行い、その取り組みが高く評価されていることなどから、平成29年度において、英語教育を軸とした小中一貫教育制度における教育課程の検討を行い、30年度から実施できるように取り組んでいく。

質 修学旅行費用について

小・中学校の修学旅行費用を全額助成する内容について。

答 児童数減少とバス単価高騰に伴い、保護者負担が増加傾向にあることから、負担の軽減を図るために助成を行う。



酒井 雅勝

一 市政執行方針  
「活力と魅力あふれるまち」  
質 商工会議所が実施するプレミアム付き商品券発行事業の連携はどのようになっているのか。

答 商工会議所内に組織される実行委員会に職員が出席し、販売方法の検討及び換金状況などの情報共有に努めてきた。また、1月には、本年度実施した商品券発行事業にかける反省会に出席し、今後の商品券の販売及び利用促進を含め意見交換した。

新年度についても市として地域経済の活性化に資する重要な事業と位置づけ、引き続き連携を図りながら事業の実効性向上に努める。

質 有害鳥獣対策により駆除したエゾシカを歌志内オリジナルの土産品づくりに、生かすことができるか。

答 現在、有害駆除したエゾシカは全て埋設処分している。しかし、歌志内オリジナルの土産品づくりの市内検討委員会では、角を装飾品にした

り、食肉を加工することで土産品になり得るとして、検討素材の一つとしている。

質 エゾシカの皮を使った製品づくりは、今後検討の中に入ってくるのか。

答 今のところ検討はされていないが次期開催の検討委員会では話をしてみたい。

質 最近、海外の観光客もスキー場などに多く来道しているが、当市のスキー場にも指定管理者との話の中で、そのようなことに対して積極的な勧誘を進めているのか。

答 近年、海外から道内に訪れる外国人観光客が増加する中、本市のスキー場においても徐々にではあるが、タイやオーストラリアなどから訪れる外国人が増えてきている。

質 一方、指定管理者においては、宿泊施設の利用マナーが問題となっており、外国語表記による各種マナーの説明等が必要と考えられることから、現時点では旅行会社などに対し積極的な営業や勧誘は行っていないとのことである。

質 一般のスキーヤーは減少傾向にあると思うが、もう少し市民が気軽にに行けるよう、シーズン券などの優遇を指定

# 一般質問

管理者と検討できないか。

**答** 指定管理者においては、

これまでも少しでも多くの市民にかもい岳スキー場を利用していただくために、大人、中学生、シニア、子供のシーズン券について各千円の市民割引販売を実施している。現在はシーズンのみ行われているが、今後は、シーズン券以外のリフト券についても、市民割引が適用できないか指定管理者に要請する。

## 二 教育行政執行方針

「学校教育の充実」

**質** インクルーシブ教育の理念に基づいた特別支援教育の充実とは、どのようなことか。  
**答** 特別支援教育では、共生社会の形成に向け、子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うものであり、基本的な方向性として、障がいのある子どもと障がいのない子どもができるだけ同じ場で学ぶことを目指している。

そこで、特別支援教室の子どもをできるだけ普通教室の授業へ参加させることを目指し、特に小学校では、特別支援教育支援員を配置し、その授業にあたっている。



山崎 瑞紀

## 一 平成29年度

### 市政執行方針について

**質** 「歌志内市総合計画」に沿って様々な取り組みを行ってきたと思うが、多様なニーズがある中、市民が本当に必要としているサービスの提供に向け、平成29年度は重点プロジェクトの中のどの項目を優先して取り組んでいくのか。

**答** 総合計画の基本理念である「みんなで創る笑顔あふれるまち」の実現と同時期に策定した総合戦略で掲げる目指すべき姿「オンリーワンの子育てと教育による人づくりを大切にするまち」を目指し、「子どもを生み育てやすい環境の整備」、「魅力ある産業づくりと地域振興」、「住民生活の安全確保と住民福祉の充実」に重点をおいて取り組むこととしている。

**質** 長年市内で事業を行っている事業者への新たな助成制度や優遇制度が必要だと感じているが、考えを伺いたい。  
**答** 現在、誘致企業向けとしては、産業開発促進条例に基

づく奨励措置があるが、誘致

企業以外の事業所向けには、

産炭地基金を全て取り崩したことから、助成制度は設けていない。市内事業所においては日頃より売上増はもとより、経費節減に努められる中、水道光熱費や燃料代、さらには輸送費などのランニングコストが経営を圧迫し、厳しい経営状況が続いている。このため市としては、これらの費用助成に関する制度について検討中であり、今後、商工会議所などから意見を伺いながら新たな制度を設ける方向で取り組んでいく。

**質** 地域間交流人口の拡大に向け、イベント等地域活動を実践している団体からの要望はどのようなことがあるのか。また、今後、支援拡充の考えはないのか。  
**答** 市では、市外からの交流人口を増やすために、イベントなどを実践する団体に対して、これまでも補助金の交付をはじめ、多くの支援を行ってきた。本年2月に開催された「なまはげ祭り」においては、例年を大きく上回る来場者で賑わいを見せた一方、主催者においては、駐車場の確

保に苦慮したとの話を聞いている。イベント終了後、主催者からは冬期間の開催であることから、次年度以降の駐車場の確保及び周辺の除排雪について、要請を受けた。

このため、今後も補助金による事業支援を継続するとともに、実行委員会による反省会などに参加し、課題や反省点などを直接聞きながら、市として必要と思われる支援を行う。

## 二 平成29年度

### 教育行政執行方針について

**質** コミュニティセンターのホワイエにWiFiスポットを設置することにより、利用の幅も広がると思うが、今後のWiFiを利用した新たな取り組みの考えについて伺いたい。  
**答** コミュニティセンターのホワイエは、出入り自由な場所なので、頻繁にスマートフォンを使う高校生や、20代、30代という若い世代に立ち寄っていたら、コミュニティセンター内の図書館利用を促進したり、個人のパソコンを持ち込んで、友達と一緒に勉強などを行う場所として活用

していたらいい。



谷 秀紀

※平成29年度の市長の市政執行方針より13項目質問。教育長の教育行政執行方針より1項目質問致しておりますが紙面の制限により主たる質問を掲載し、質問の一部を割愛致しますが、ご理解願います。  
◎人と人とのつながりを大切にする「市民と協働のまちづくり」を信条に市民誰もが住んでいてよかったと実感できるまちづくりの実現に向け、さらに市政を推進してまいります。との記述について、  
**質** 一、市民と協働のまちづくり、を信条にとの記述について改めて市長が求める信条とはどのような見解を考えているのか伺いたい。

**答** まちづくりは、行政だけで取り組むことはできず、市民と行政がともに知恵を出して、同じ目標に向かって力を合わせて取り組むことが必要である。まちづくりをはじめ、社会の仕組みは「自助・互助・共助・公助」から成り立っており、それぞれのバランスが重要だと言われており、まず、自分や家族でできることは個

# 一般質問

人で、個人でできないことは町内会等の互助で、互助でできない場合は制度化された相互扶助などの共助で、共助でできない場合には最後に行政が支援することになるが、どこかに負担がかかりすぎると協働のまちづくりが困難になる。例えば、行政（公助）に頼りすぎていると、行政に財政的な余裕があるうちほうまく回るかも知れないが、余裕がなくなるとそのバランスは簡単に崩れてしまう。

このため、私たちのまちが、まちであり続けるためには、バランスを取りながらみんなと一緒に考え、市民と行政が共同でまちづくりを進めることが大切だと思っている。

※以下、市政・教育行政執行方針について、主たる質問のみ掲載しますが、答弁は紙面の制限により割愛します。

質二 市民が実感できるまちづくりの実現に向け、さらに市政を推進する内容について具体的に示していただきたい。  
質三 人口減少は、当市にとって最重要課題であると以前

の議会で答弁をされている。このまま人口減少が続いて行くことについて、行政とし

て人口減少問題について大胆な政策または施策を新たに研究すべきタイムリミットに来ているものと考えるが、行政サイドの所見を伺いたい。

質四 人口減少対策とともに重要な定住化対策だが、奨励金制度、子育て支援等、各種支援制度などの施策をPRし努力をされているが、実態として人口減になっている要因

質五 望ましい学校教育の在り方について論じるには、それ相応な知識を必要とする問題と認識するが、総合教育会議の開催について人材構成も含め教育の在り方とはどのような内容のものか。

※教育行政執行方針より。  
◎平成32年度から学習指導要領が大きく改訂されるなど、時代の変化に対応しうる教育活動の展開が求められています。との記述について

質一 平成32年度から予定されている新学習指導要領の改訂に伴う主な内容については中教審の特別部会より既に公表されているのではないかと

思うが、公表されているとしたならば、その内容について示していただきたい。



本田 加津子

## 市政執行方針について

「活力と魅力あふれるまち」

質 商工会議所が実施するプレミアム付き商品券発行事業への支援内容について伺います。

答 プレミアム付き商品券販売の実施主体は商工会議所であり、市は、商工会議所が行う事業に対し、必要な支援として補助金を交付している。

また、市は実行委員会に出席し、市民からの要望を商工会議所に伝えるとともに、事業所及び市民にとつて利用しやすい商品券とするため、販売時期や販売方法等について意見交換を行っている。

新年度についても、販売当日、会場までの無料送迎バスの運行はもとより、会場内での手伝いなど、引き続き支援することとしている。

質 昨年、早い時間帯で完売しており、購入できなかった方が多くいた。また、購入できなかった方からの苦情もあったと伺った。  
そこで、商工会議所との意見交換会で販売方法について

話し合いはされたのか伺います。  
答 1月に開催された反省会で、市の方に苦情があったことは申し伝えた。

販売方法については、実行委員会の中では今の販売方法が良いのではないかとこの意見が出されたところだが、今後、発行枚数も増やす方向であることから、それらも見ながら、4月に入ってから実行委員会が開催されると思うので、その中でも行政のほうの考え方、市民からいただいている意見等について訴えていきたい。

質 ワイン用ぶどう試験栽培事業が2年目を迎え、獣害対策用フェンスの設置及び苗木の新植など、本格的な栽培を開始するところだが、本格的な栽培を開始するにあたり、新たな雇用に繋がるのか伺います。

答 新年度においては融雪剤を散布した後、雪解けを待つて獣害対策用フェンスの設置及び、約3000本の苗木を植栽し、本格的な苗木の栽培管理を開始する。

苗木の管理の他にも圃場内を整備する業務等があり、地域おこし協力隊の栽培技術員

を中心に行うが、作業員としてシルバーセンターから2名の派遣をいただく予定である。  
質 苗木を植えるときに、市民ボランティアのような、経験のない方を巻き込むことは難しいのか。

答 ぶどうの苗木を3000本植栽することから、地域おこし協力隊員とも話をしている中では、市民の方にぶどう園を知ってもらうことも一つの重要なポイントということであるが、市民の方にも参加していただけるような方向で現在考えているところである。

質 ワイン用ぶどう試験栽培については、多くの市民がとも関心を示している。そこで、市民に対してリアルタイムな情報を発信することも必要ではないかと思うが、考えを伺います。

答 栽培事業の再開に期待されている市民が多いと伺っている。このため、苗木の生育状況や作業の様子など、ホームページや広報を通じて、適宜、情報発信するように努めていく。

# 一般質問



湯浅 礼子

## 一 市政執行方針

**質** 「市民と協働で創るまち」から、地域団体等が取り組む地域づくり活動に対して必要な支援とは、具体的な内容について伺います。

**答** 平成29年度から、町内会等の団体が取り組む、地域づくり活動に対し、補助対象経費の2分の1以内で最大10万円、3年間を限度として、地域づくり活動支援事業補助金を交付する予定。例えば、町内会等で独自に取り組んでいる除雪や環境・景観美化、防災等の啓発活動など、地域の幅広い活動に対して実施する団体を応援しようとするもの。  
**質** 「活力と魅力あふれるまち」から、昨年はプレミアム付き商品券が大好評で、早い時間帯で売り切れ、私もほしかったとの声が多数あった。本年の取り組み内容について伺います。

**答** プレミアム付き商品券の実施主体は商工会議所であり、市は、必要な支援として補助金を交付している。新年度は発行数を昨年の2000セツ

トから2500セツトに増やす予定。また、無料バスの運行や身体が不自由な方への代り購入制度の継続など、市民がより購入しやすいような販売方法について、商工会議所に要請する。

**質** 「健康で心ふれあうまち」から、社会福祉協議会に委託実施する「つどいの場事業」の具体的内容について伺います。

**答** 「つどいの場事業」は、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活が継続できるよう、他者との交流を図り、心身の健康の維持・増進が出来ることを目的に、市デイサービスセンターの空きスペースを利用し、週1回、4時間の開催で、茶話会や軽運動、レクリエーションや趣味活動などをを行う。

対象者は、介護認定や疾病の有無に関係なく、市内に居住する65歳以上の方全てを対象に、地域支援事業の中の介護予防事業として実施する。

**質** 「地域包括ケアシステム」の中で地域包括支援センターの機能強化が必要と思うがいかがか。  
**答** 「地域包括支援センター」

の役割は重要であり、高齢化率の高い当市では、その重要性はいっそう大きいものであると認識している。「認知症総合支援事業」の中で、認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに新たに配置する予定。

## 二 教育行政執行方針

**質** 「学校教育の充実」から、小中一貫併設校の方向性について検討を行うとあるが、どの部分が大きく地域の実情に反映されていくのか伺います。

**答** 本市においては、これまで、ALTを活用し、幼稚園をはじめ、小学校低学年から国際理解教育として英語教育を行い、その取り組みが高く評価されている。

しかし、現在の教育課程では、特に小学校低学年における英語教育には、自由な取り組みができないのが現状だが、小中一貫型学校になると、英語科の早期導入と併せて、小学校低学年からアルファベットや単語指導を行うことができるようになる。

本市では、小中一貫教育制度における教育課程の検討を行い、平成30年度から実施できるよう取り組む。



めが さとし

## 一 市政執行方針

### 市民と協働で創るまち

**質** 市民サービスの向上のため、市民主体のまちづくりに取り組むとあるが、様々な地域団体があると思うが、団体等からの要望を尊重し対話の時間を作るということか。

**答** まちづくりは、行政だけでは取り組むことはできないので、市民とともに知恵を出し合い、力を合わせて取り組むために、多くの市民の声を聞くことは必要なことであり、そのためには、意見交換の場も必要であるが、小さなまちの利点を生かして、団体や市民グループ等の会合に出席した際を利用し、その場で意見交換を行っている。

**再質** 昨年ある団体からふれあい市長室とは違う形式で、対市交渉という形で申し入れがあったと思うが、交渉の内容がそぐわないとして、この市民団体からの要望を断っているが、今後はそういうことはしないで、交渉の場を設けるのか。

**答** 団体交渉を前提とした話

し合いの場として受けとめる考えはない。様々な意見や要望を受ける場であれば、積極的に臨みたいが、市と直接交渉をする、団体交渉という言葉を使っている要求であれば、今の私と接する場の目的とは異質なものと考え、お断りした。

**再質** 交渉の場は設けないということだが、今後はふれあい市長室で対応していくのか。

**答** 行政が団体交渉を受ける前提というのは何かというのには、あらかじめ内容というのは限られたものと思っている。今後、団体交渉の直接要求をされても、受ける考えはない。

**再質** ふれあい市長室等で話は受けるのか。

**答** 要望や意見等は大きいに受けたいと思う。しかし、団体交渉という目的を持って申し込まれても、それは受ける立場にはない。その辺を分けて整理していただき、内容によっては受けたいと思っている。

### 健康で心ふれあうまち

**質** 国保事業広域化し、北海道への事務事業移管に向けた準備を進めるとあるが、国保の道単一化で当市のメリット・デメリットを伺いたい。

## 一部事務組合等議会

**答** 国保広域化は平成30年度より北海道が財政運営の責任主体となるため、納付金仮算定を公表しており、当市も保険税改正の検討など準備を進めている。メリットは、北海道全体で支え合う国保事業として、安定的な財政運営が図られ、将来にわたって国保制度の安定と制度を堅持していくことが可能。デメリットは、所得水準や医療費水準の地域差により、標準保険料率に届かず、保険税の値上げ改正が必要となる。

**再質** 最終的に住民負担が逃れられない状況と感ずる。国保は高齢者や低所得者層が多く加入していることを考えると「高すぎる保険料」は、住民が必要な医療を受ける障害になると思うが。

**答** 今後の仮算定等の状況を見ながら検討を進めていきたい。

**安心して快適に暮らせるまち**  
質 市営住宅敷地内に設置している老朽化した防犯灯は何灯あり、どのような計画でLEDに切り替えていくのか。

**答** 130基あり、平成29年度から4カ年で計画的に切り替えていく。

▽2月21日

空知教育センター組合議会  
第1回定例会 湯浅議員

▽2月22日

中空知広域市町村圏組合第1回定例会

川野議長・山崎議員

石狩川流域下水道組合議会

第1回定例会 谷議員

中・北空知廃棄物処理広域

連合議会第1回定例会

川野議長

▽2月24日

空知中部広域連合議会第1回定例会

川野議長・下山議員

▽2月28日

中空知広域水道企業団議会第1回定例会

川野議長・本田議員

▽3月3日

砂川地区保健衛生組合議会第1回定例会 女鹿議員



高齢者住宅を視察

## 行政常任委員会報告

委員長 女鹿 聡

▽1月24日～27日「行政視察」

・定住促進対策について（愛知県豊根村・愛知県設楽町）  
・有害鳥獣対策について（愛知県設楽町）  
・知県設楽町）

・ワイン用ぶどう試験栽培事業の取り組み状況について（長野県坂城町）  
※表紙の写真は行政視察時のものです

▽1月30日  
・市立病院事業の運営状況について

・市営・改良住宅の入居状況及び使用料の徴収状況について  
・空き家対策の取り組み状況について

▽2月27日  
・公会計制度の取り組み状況について

・物品の発注、契約の状況について  
・各審議（査）委員会等に関する状況について

・福祉医療費助成事業の状況について

・交通安全対策推進事業の状況について

・市税・使用料等の収入状況と未収対策について

## 可決された意見書

● 過疎地域の追加と過疎対策事業債の対象事業の拡充を求める意見書

● 指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書

● 無料公衆無線LAN（WiFi）環境の整備促進を求める意見書

● 「準要保護世帯」に対する就学援助の拡充を求める意見書  
● 国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティの廃止に係る意見書

※これら5件の意見書は3月16日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付されました。

## 条例・予算等 審査特別委員会報告

委員長 本田 加津子

▽3月13日（1日目）

・会計室・市立病院・教育委員会  
・企画財政課・監査委員事務局・議会事務局

▽3月14日

・消防本部・産業課・保健福祉課  
・総務課・選挙管理委員会

▽3月15日

・市民課・建設課  
本特別委員会に付託された議案7件について、以上の日程で審査した結果、いずれも原案どおり可決すべきものと

## 編集後記

3月定例会に限り、各議員通常の2段から3段で掲載しています。

また市政執行方針と教育行政執行方針に対しての質問が多くなることから、各議員の質問内容が重複しているものもありますが、その分皆様に議員一人ひとりの質問内容を深く知っていただけたらと思います。

編集長 めが